2026年度 第2四半期
決算説明会資料

OKUMA
OPEN POSSIBILITIES

2026年 11月 10日

目次

第1部 2026年度 第2四半期の業績

- 決算の概要
- 受注・売上
- 貸借対照表
- キャッシュフロー・設備投資

第2部 2026年度の業績予想

第3部 事業戦略

第1部　2026年度 第2四半期の業績

【決算の概要】

■ 連結売上高：1,181.3億円（前年同期比 +12.3%、海外売上高比率 71.5%）

- 2026年度上期は主として前年度の受注に合わせて生産を計画的に進め、
  売上高は1,181.3億円（第1四半期 519.0億円、第2四半期 662.3億円）を確保
- 2026年9月末時点の受注残高は1,447.2億円（2026年3月末比 +433.1億円）へ大幅増

■ 連結営業利益：120.5億円（前年同期比 +98.8%）、営業利益率：10.2%

- 部材コストの上昇、輸送コストの高止まり、人的資本投資の強化等による費用増加に対し、販売価格への転嫁、
  生産効率向上によるコストダウンを推進。
  加えて、米国輸入関税の還付の影響もあり、営業利益120.5億円（営業利益率10.2%）を確保

■ 連結四半期純利益：116.5億円（前年同期比 +155.8%）、四半期純利益率： 9.9%

- 2026年度上期に政策保有株式を一部売却し、特別利益 37.0億円を計上

【決算の概要】

■ 連結受注高：1,614.4億円（前年同期比 +44.4%）

- 工作機械の需要は、幅広い産業において拡大基調で推移。地域別では米国および日本を中心として2026年度第2四半期に大きく増加。こうした旺盛な需要を着実に受注に結び付けた結果、受注高は過去最高であった2025年度 第4四半期の677.3億円を、2026年度第2四半期には861.8億円（前年同期比＋49.6%）まで拡大し、過去最高を3四半期連続で更新。
  - 米国市場は、大手企業を中心に、航空、宇宙・衛星、防衛関連、データセンタ・エネルギーからの高水準な需要が継続し、2025年度下期に続き、2026年度上期に過去最高受注額を更新。また、中堅・中小事業者においても、設備投資再開の動きが見られた。
  - 国内市場は、航空、宇宙、防衛関連、データセンタ・エネルギーでの活況に加えて、半導体製造装置、造船、一般産業機械等の幅広い産業において設備投資が拡大基調で推移。
    また、中堅・中小事業者においても設備の更新需要等で設備投資に積極的な動きが見られた
  - 欧州市場は、ドイツ等では自動車産業の停滞、輸出産業の不振等により、需要は弱含みで推移したが、欧州全体では、航空機、防衛関連をはじめとして設備投資が活発化し、需要は総じて堅調に推移
  - 中国市場は、半導体製造装置、一般産業機械等からの需要が堅調に推移。
    その他アジアは、国・地域や産業により濃淡はあるが、半導体製造装置を中心に、需要は拡大基調で推移

【決算の概要】

（参考）

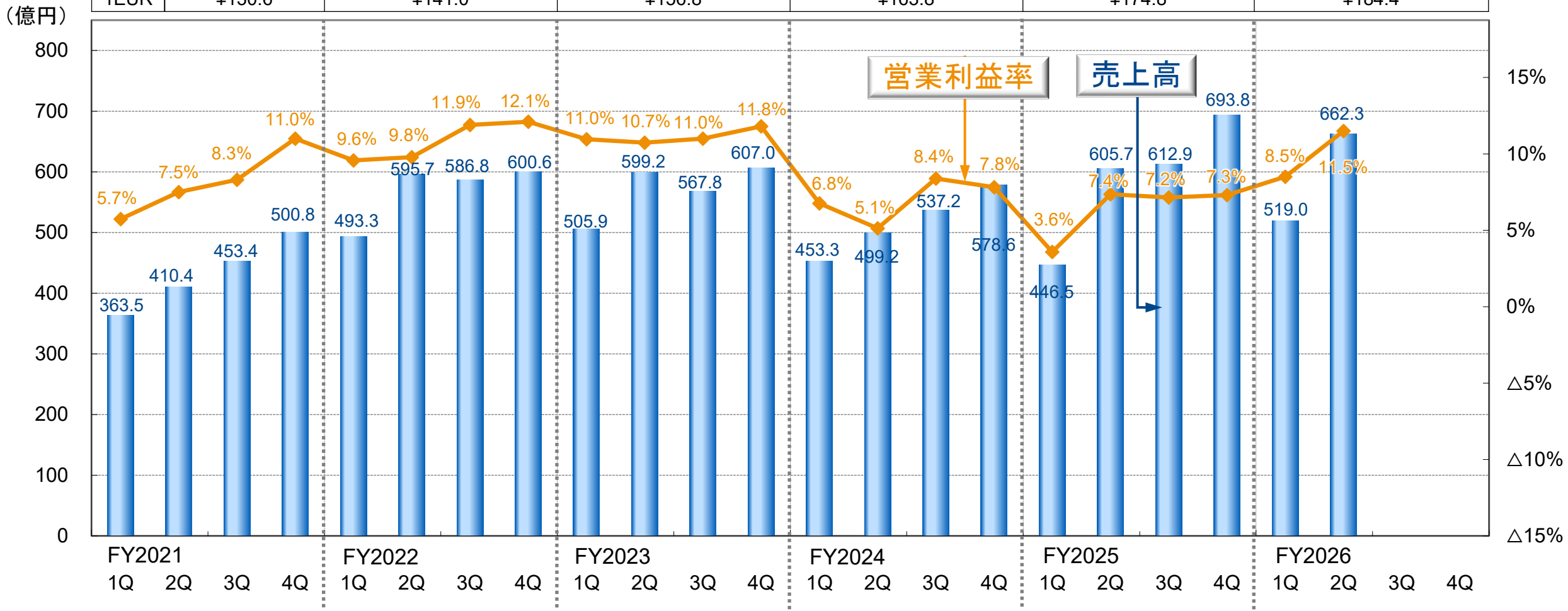
	2025年度			2026年度				2026年度 上期業績 予想 （2026.8.5）
	第1四半期	第2四半期	第2四半期 累計	第1四半期	第2四半期	第2四半期 累計	増減率 （前年同期比）	
	億円	億円	億円	億円	億円	億円		億円
売上高	446.5	605.7	1052.2	519.0	662.3	1,181.3	+12.3%	1,190.0
営業利益	16.0	44.6	60.6	44.0	76.5	120.5	+98.8%	115.0
経常利益	21.5	40.6	62.1	49.3	78.4	127.7	+105.5%	120.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	14.1	31.4	45.5	49.8	66.6	116.5	+155.8%	105.0

為替レート	2026年度 上期 実績レート	ドル＝ 159.4円	ユーロ＝ 184.4円
	2025年度 上期 実績レート	ドル＝ 146.0円	ユーロ＝ 168.1円
（参考）2026年度 通期 想定レート（2026年11月設定）		ドル＝ 158.2円	ユーロ＝ 180.7円

【決算の概要】業績推移

【為替の実績レート】

1USD	¥112.4	¥135.5	¥144.6	¥152.6	¥150.8	¥159.4
1EUR	¥130.6	¥141.0	¥156.8	¥163.8	¥174.8	¥184.4



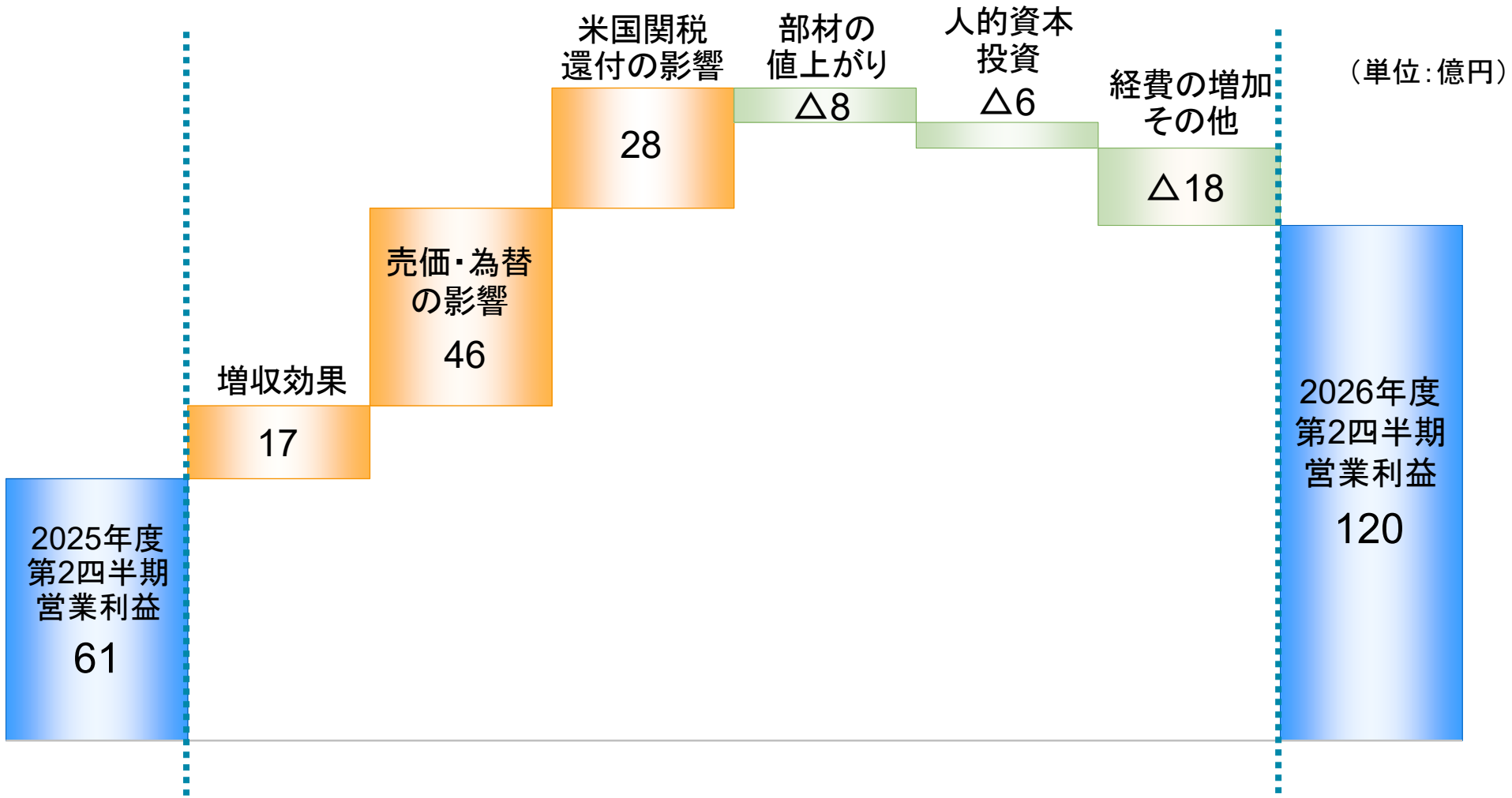
（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

OPEN POSSIBILITIES

（注）本資料で「為替の実績レート」と表記してあるものは、当社の連結決算上の外貨換算で使用した期中平均レート

OKUMA

【決算の概要】営業利益の増減要因

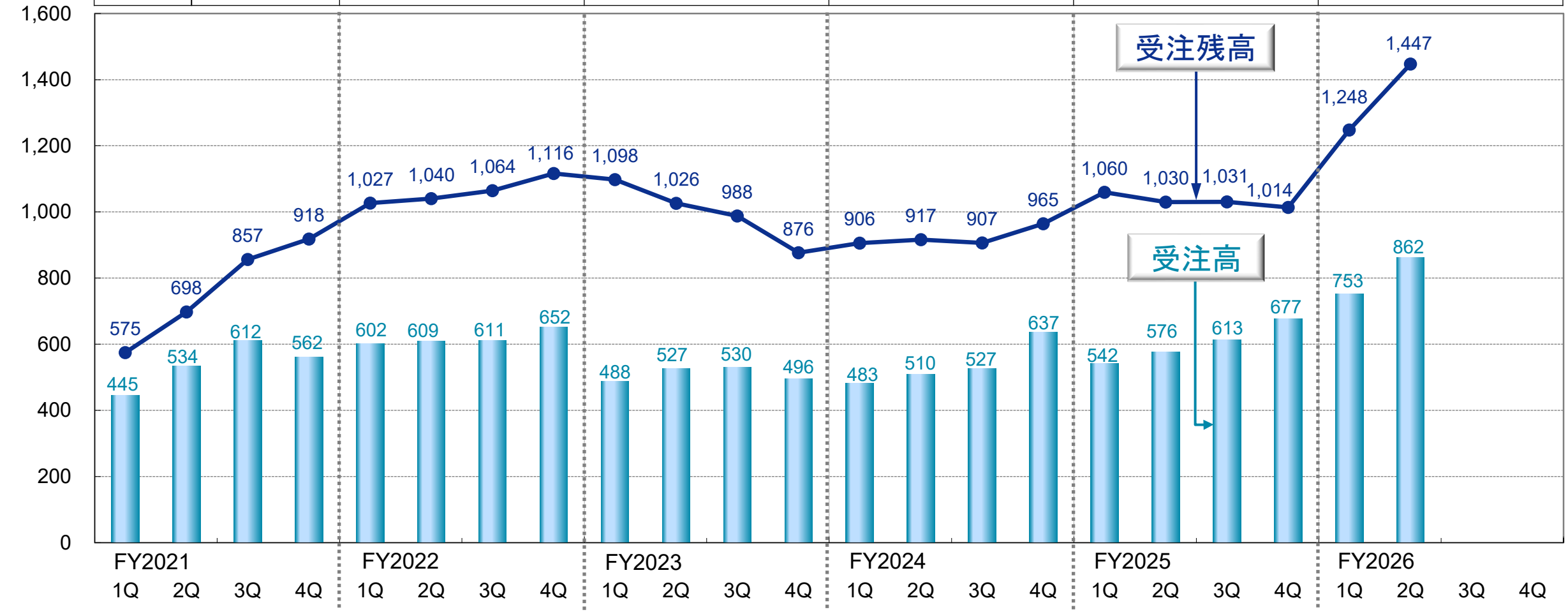


（注）△の印は、営業利益へのマイナス影響を示しています

【受注】受注･受注残高の推移

【為替の実績レート】

1USD	¥112.4	¥135.5	¥144.6	¥152.6	¥150.8	¥159.4
1EUR	¥130.6	¥141.0	¥156.8	¥163.8	¥174.8	¥184.4

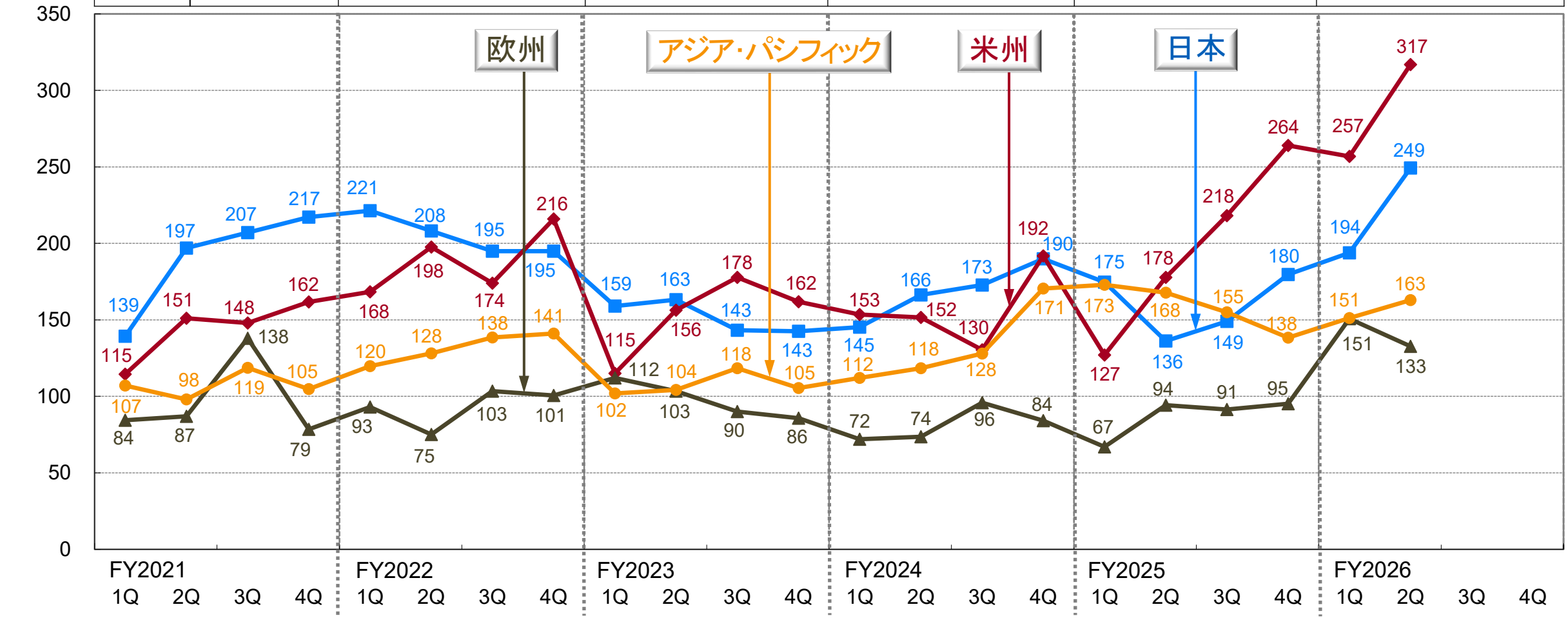


（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

【受注】地域別受注高の推移

【為替の実績レート】

1USD	¥112.4	¥135.5	¥144.6	¥152.6	¥150.8	¥159.4
1EUR	¥130.6	¥141.0	¥156.8	¥163.8	¥174.8	¥184.4



（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

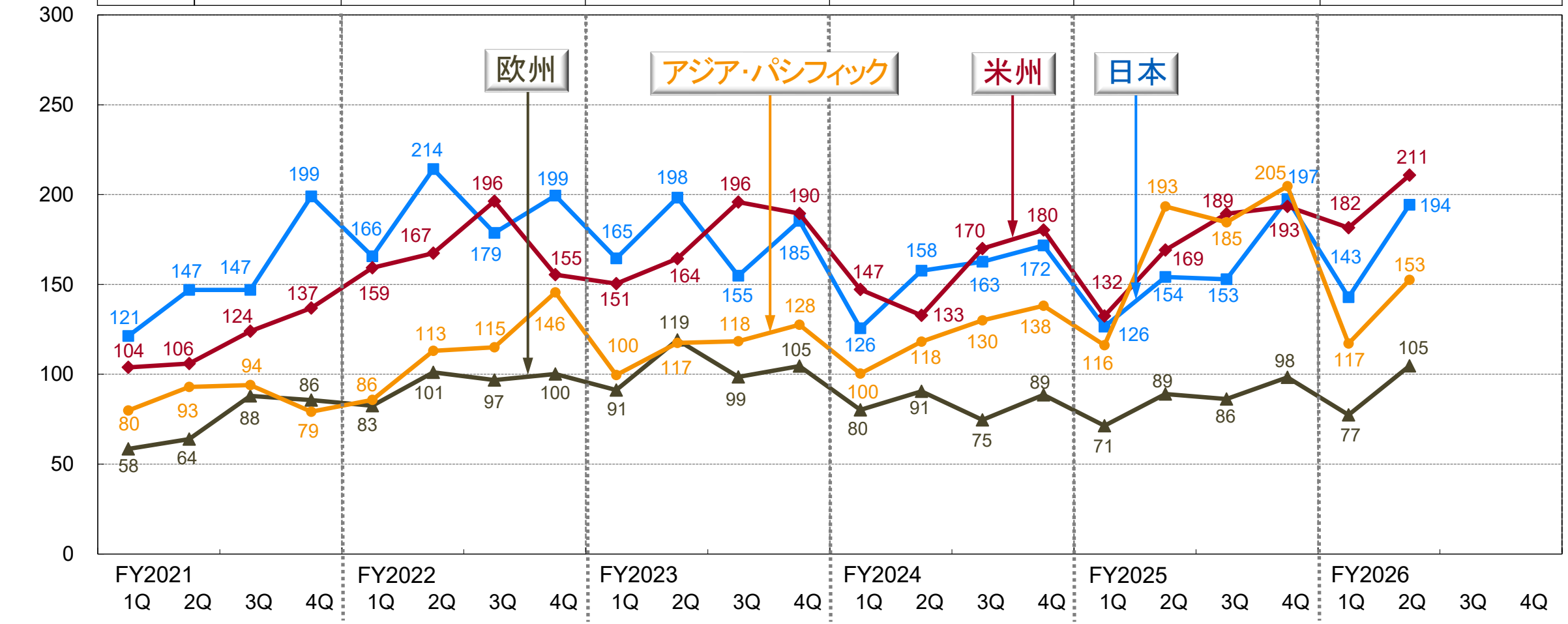
【受注】地域別 受注高

	2025年度				2026年度		前年同期比増減率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	
日本	175	136	149	180	194	249	83.0%
米州	127	178	218	264	257	317	78.3%
欧州	67	94	91	95	151	133	40.8%
アジア・パシフィック	173	168	155	138	151	163	△2.9%
計	542	576	613	677	753	862	49.6%

【売上】地域別売上高の推移

【為替の実績レート】

1USD	¥112.4	¥135.5	¥144.6	¥152.6	¥150.8	¥159.4
1EUR	¥130.6	¥141.0	¥156.8	¥163.8	¥174.8	¥184.4

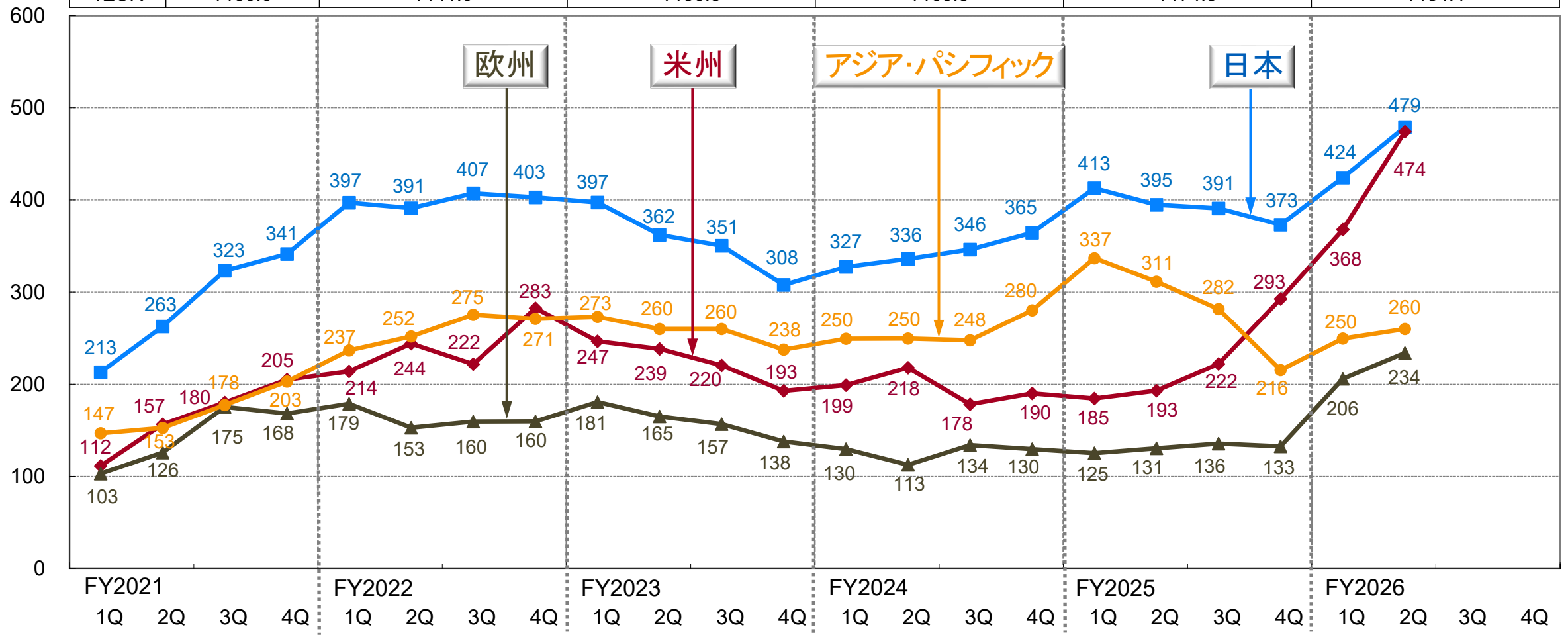


（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

【受注】地域別受注残高の推移

【為替の実績レート】

1USD	¥112.4	¥135.5	¥144.6	¥152.6	¥150.8	¥159.4
1EUR	¥130.6	¥141.0	¥156.8	¥163.8	¥174.8	¥184.4

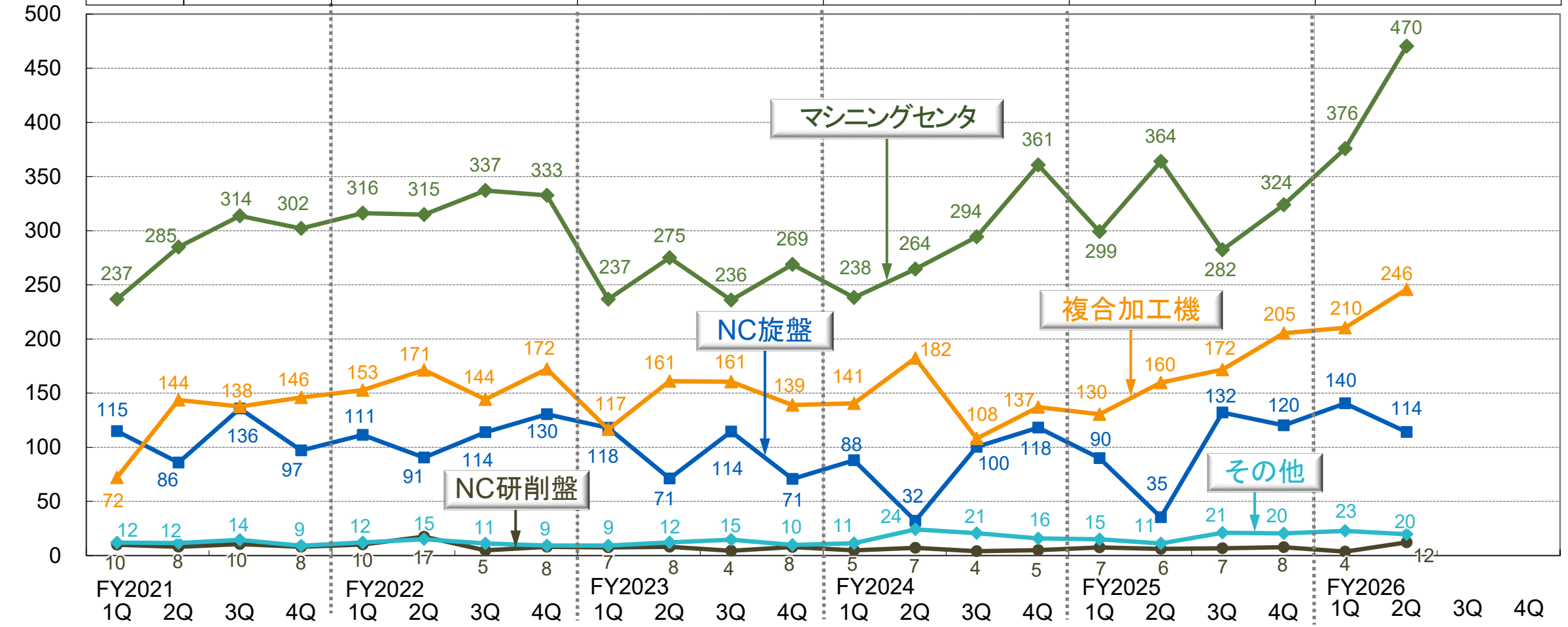


（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

【受注】製品別 受注高の推移

【為替の実績レート】

1USD	¥112.4	¥135.5	¥144.6	¥152.6	¥150.8	¥159.4
1EUR	¥130.6	¥141.0	¥156.8	¥163.8	¥174.8	¥184.4



（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

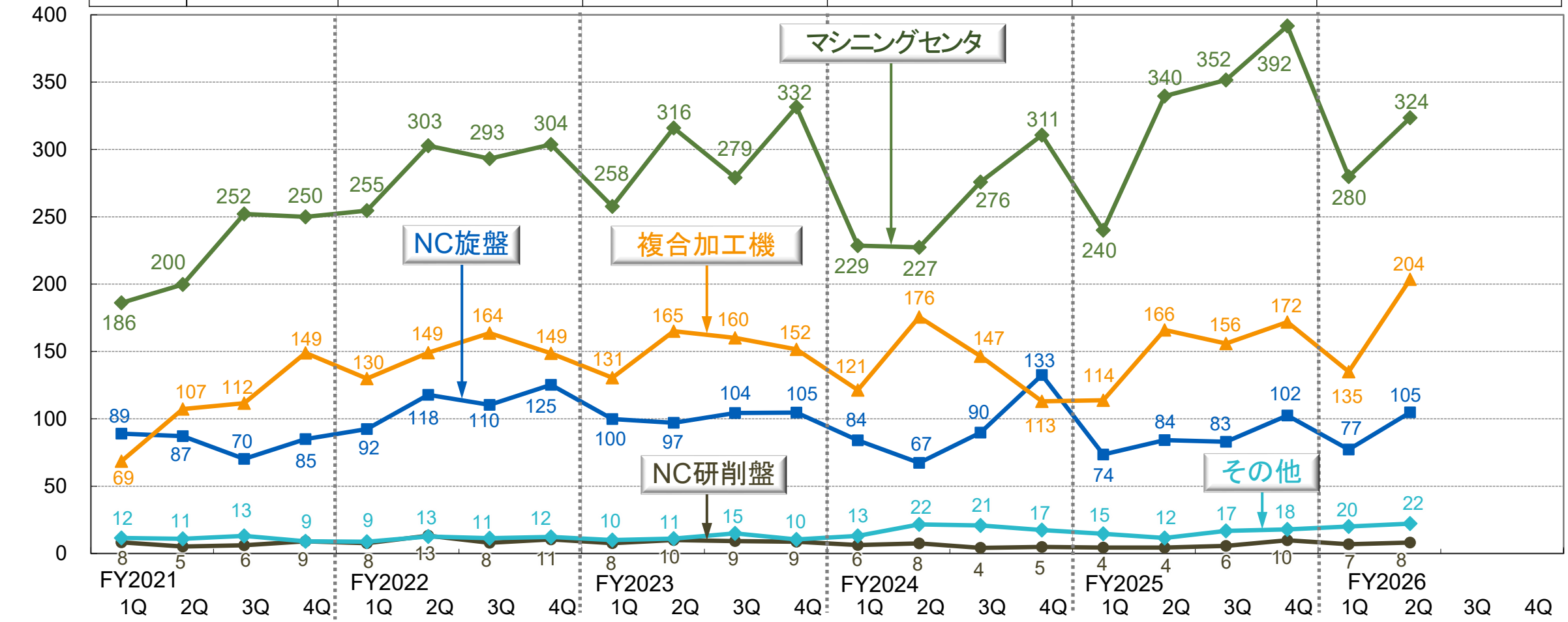
OPEN POSSIBILITIES

OKUMA

【売上】製品別 売上高の推移

【為替の実績レート】

1USD	¥112.4	¥135.5	¥144.6	¥152.6	¥150.8	¥159.4
1EUR	¥130.6	¥141.0	¥156.8	¥163.8	¥174.8	¥184.4



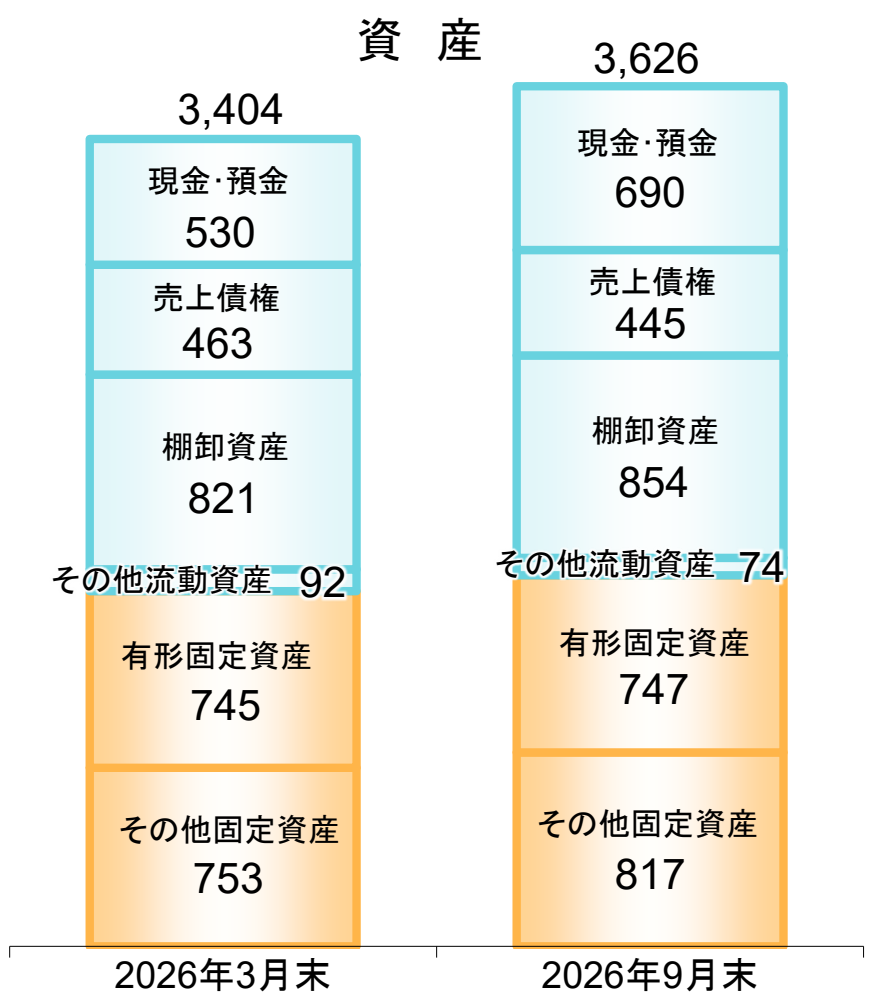
（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

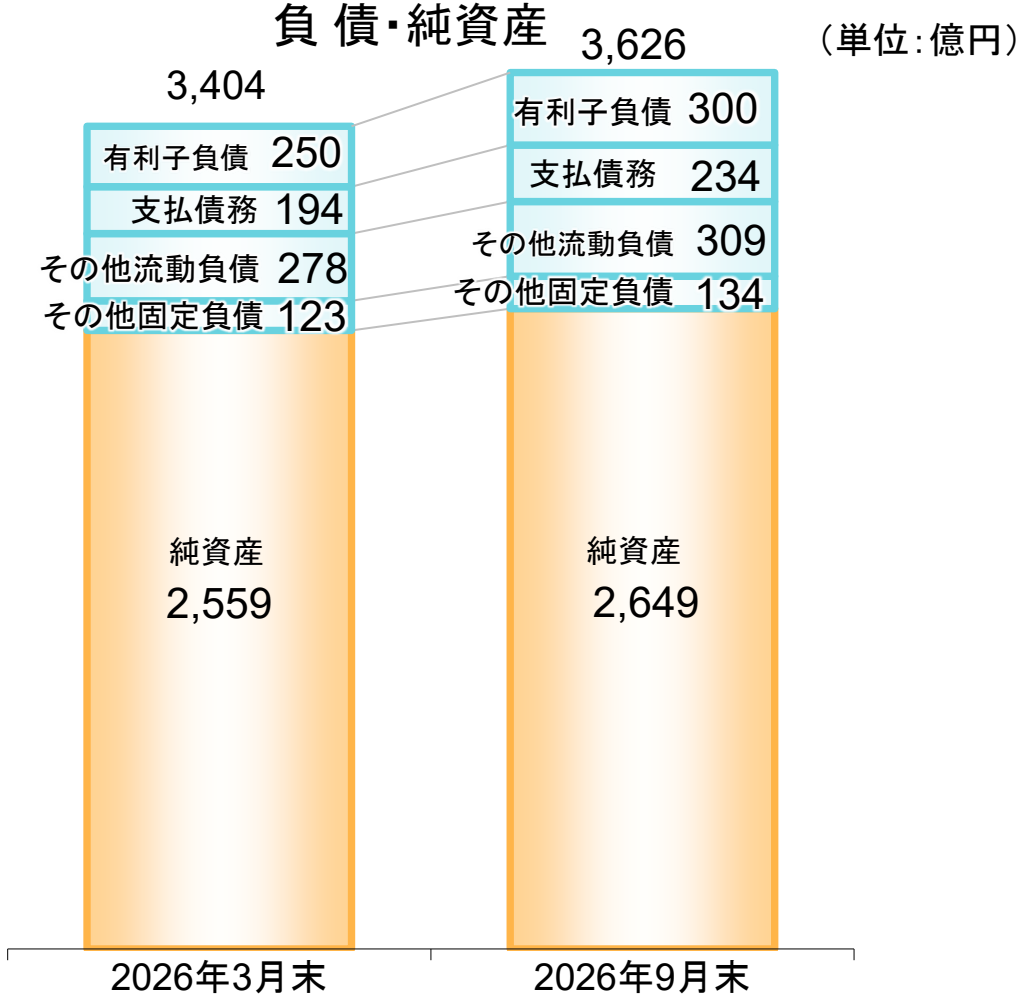
【受注・売上】製品別 受注・売上・受注残高

	受注高			売上高			受注残高		
	2025年度第2四半期累計	2026年度第2四半期累計	増減率（前年同期比）	2025年度第2四半期累計	2026年度第2四半期累計	増減率（前年同期比）	2025年度第2四半期末	2026年度第2四半期末	増減率（前年同期比）
	億円	億円		億円	億円		億円	億円	
NC旋盤	125	254	103.4%	158	182	15.4%	145	285	95.9%
マシニングセンタ	663	846	27.6%	580	603	4.1%	671	776	15.7%
複合加工機	290	456	57.2%	280	339	21.0%	191	358	87.0%
NC研削盤	13	16	17.0%	9	15	72.1%	13	12	△4.2%
その他	26	42	62.0%	26	42	61.0%	9	16	71.0%
計	1,118	1,614	44.4%	1,052	1,181	12.3%	1,030	1,447	40.5%

【貸借対照表】

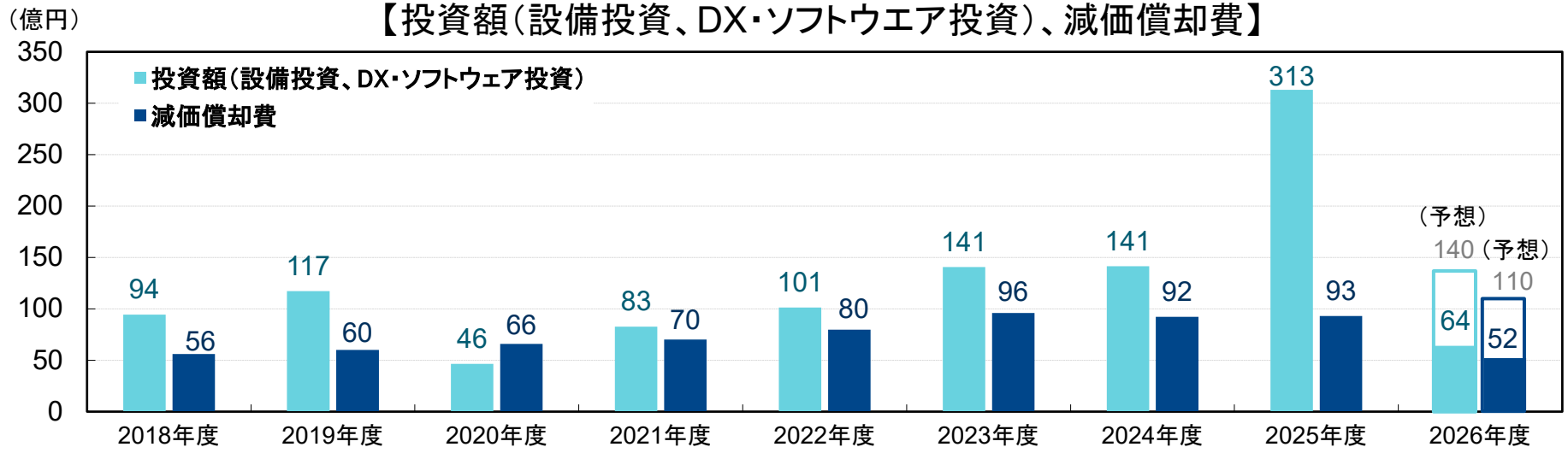
2026年9月末の自己資本比率 69.6%となり、健全な水準を維持





【キャッシュフロー・設備投資】

	2025年度 第2四半期 累計	2026年度 第2四半期 累計
	億円	億円
営業活動によるC／F	83	209
投資活動によるC／F	△146	△27
財務活動によるC／F	△35	△23
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0.7
現金及び現金同等物の中間期末残高	386	636



第2部　2026年度の業績予想

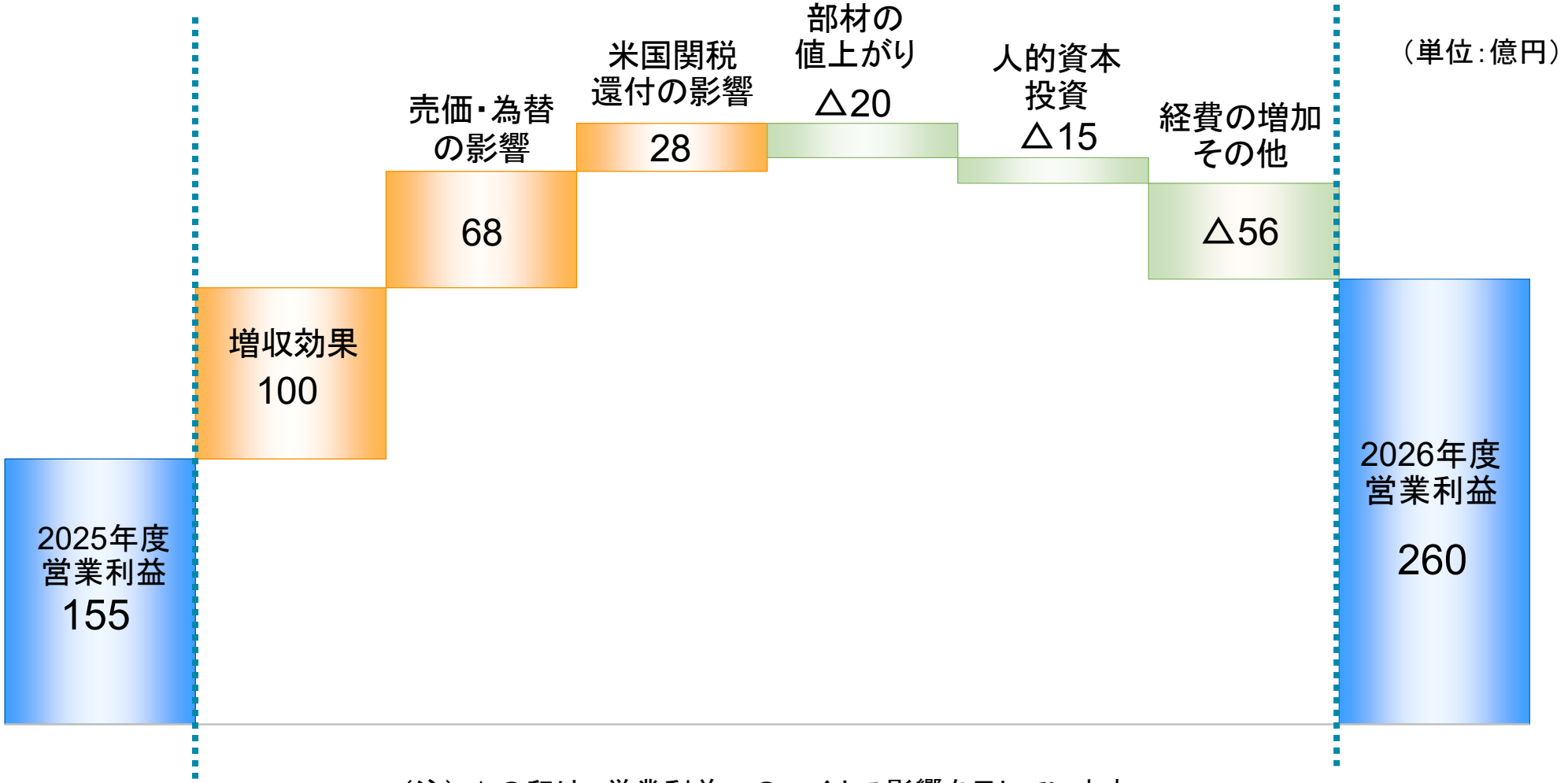
【2026年度の業績予想】

- 2026年度の売上高は2,600億円、営業利益は260億円、営業利益率は10.0%を予想
- 業績予想を踏まえ、2026年度の年間配当は120円（中間配当60円、期末配当60円）を予定
  （配当性向 35.2%）

	2025年度（実績）		2026年度（予想）（2026年8月）		
		対売上高		対売上高	増減率
	億円		億円		
売　上　高	2,358.9		2,600		10.2%
営 業 利 益	155.1	6.6%	260	10.0%	67.7%
経 常 利 益	163.8	6.9%	265	10.2%	61.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	125.5	5.3%	200	7.7%	59.3%

為替レート			
	2025年度 通期 実績レート	ドル＝ 150.8円	ユーロ＝ 174.8円
	2026年度 通期 想定レート（2026年11月設定）	ドル＝ 158.2円	ユーロ＝ 180.7円

【決算の概要】営業利益の増減要因



（注）△の印は、営業利益へのマイナス影響を示しています

【受注・売上】地域別 受注・売上・受注残高

- 2026年8月に上方修正した2026年度の連結受注高 予想 2,760億円を、3,100億円へ再度上方修正

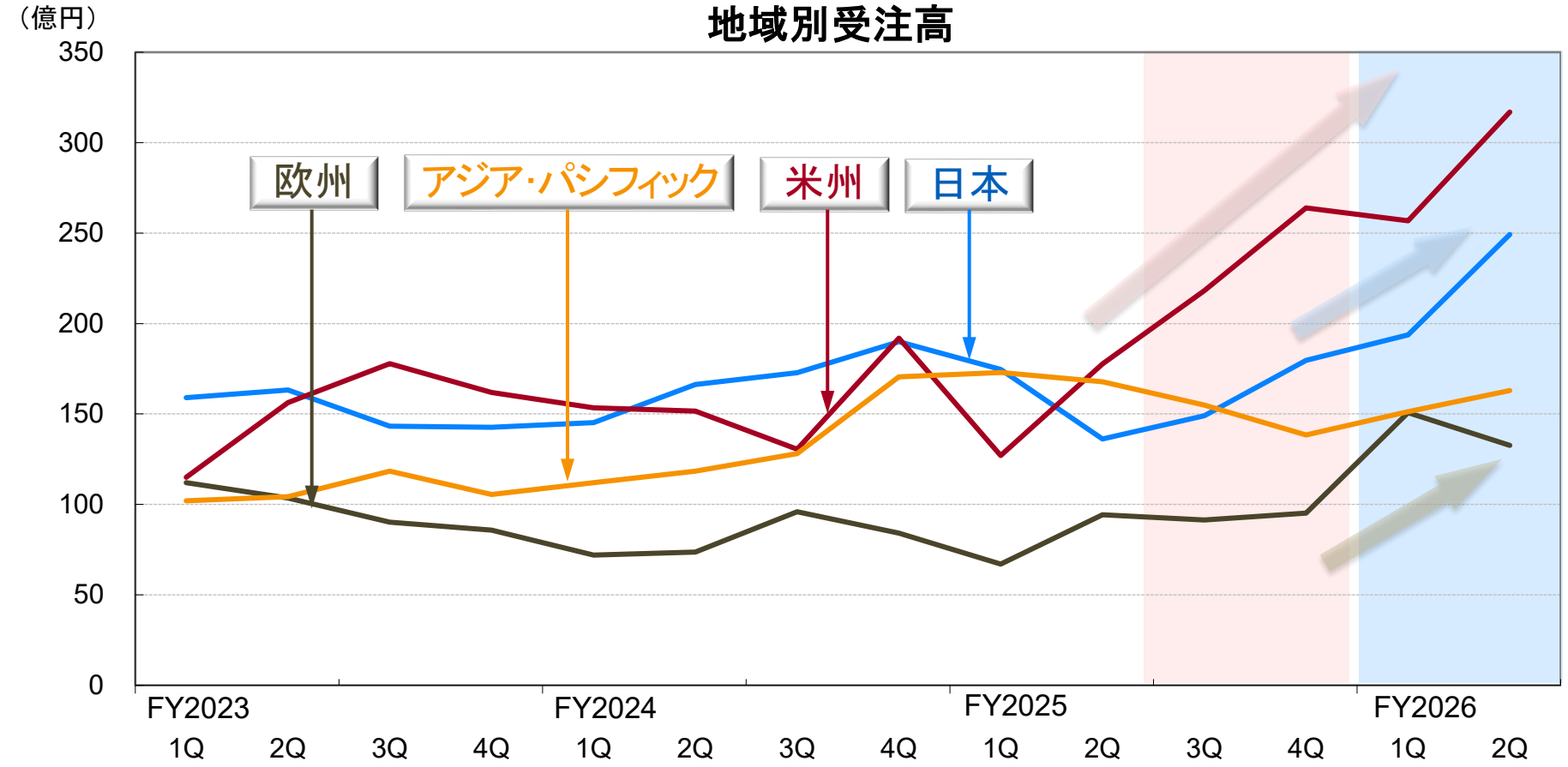
	受注高			売上高			受注残高	
	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想 (11月修正)	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想 (8月修正)	2024年度 実績	2025年度 実績
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
日本	674	640	880	618	631	745	365	373
米州	627	787	1,055	630	684	910	190	293
欧州	326	348	545	334	345	420	130	133
アジア・パシフィック	529	634	620	487	699	525	280	216
計	2,156	2,408	3,100	2,068	2,359	2,600	965	1,014

為替レート			
	2024年度 通期 実績レート	ドル＝ 152.6円	ユーロ＝ 163.8円
	2025年度 通期 実績レート	ドル＝ 150.8円	ユーロ＝ 174.8円
	2026年度 通期 想定レート（2026年11月設定）	ドル＝ 158.2円	ユーロ＝ 180.7円

第3部 事業戦略

連結受注高：過去最高を更新。米州起点の需要がグローバルに波及

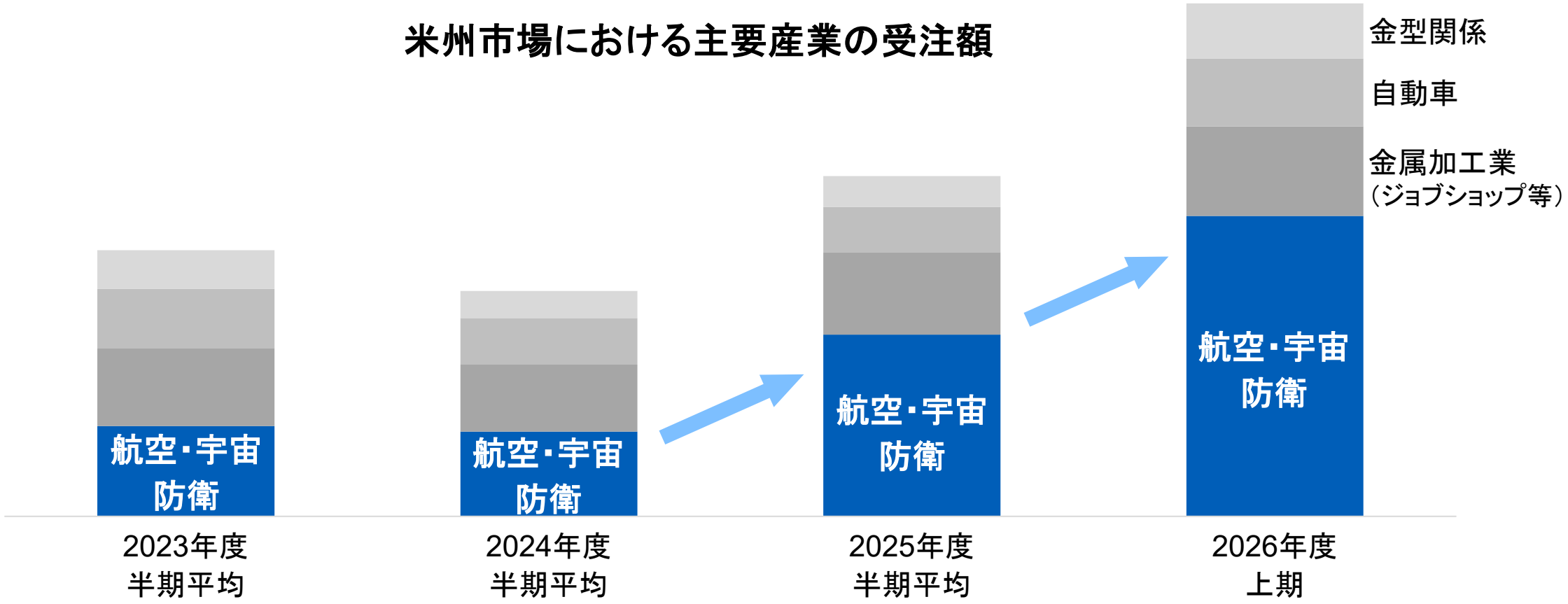
- 2025年度下期、2026年度上期と連続で米州市場の受注高が過去最高を更新。
  2026年度上期には、日本・欧州市場においても受注拡大が広まる



（注）1Q＝4月～6月、2Q ＝7月～9月、3Q ＝10月～12月、4Q ＝1月～3月

米州の航空・宇宙、防衛産業が需要拡大をけん引

■ 米州市場における航空・宇宙、防衛向け受注額は、2025年度に前期比で倍増し、2026年度上期も拡大が続いた。データセンタ・エネルギー関連も好調に推移



成長産業における オークマの強み

■ 大型精密部品、難削材の加工ニーズ拡大が 当社の5軸制御MC・複合加工機の成長機会に

成長産業の加工ニーズ

今後も需要拡大が期待される
航空・宇宙、防衛等の成長産業では、
大型精密部品、難削材の加工ニーズが高い

大型精密部品

加工に時間を要し長時間、安定した
精度維持が求められる

難削材

加工負荷が高く、工具摩耗が生じやすい
ため、高い剛性と加工能力が求められる



航空機エンジン部品



人工衛星部品

本機の加工性能要求

高精度

長時間加工でも安定した
加工精度を維持

高付加価値加工

難削材加工でも
高い加工能力を発揮し、
加工時間を短縮

高信頼性

加工トラブルを抑制し、
自動化による無人運転でも
長時間の安定稼働を実現

オークマの強み

成長産業の高度な加工ニーズに応える
Green-Smart Machine

大型精密部品・難削材加工でも
機械が自律的に高精度・高生産性を実現



5軸制御立形MC
MU-6300V-L



複合加工機
MULTUS U1000

強みの源泉

工作機械とNC装置を自社開発するオークマの
機電情知融合の独創技術が要

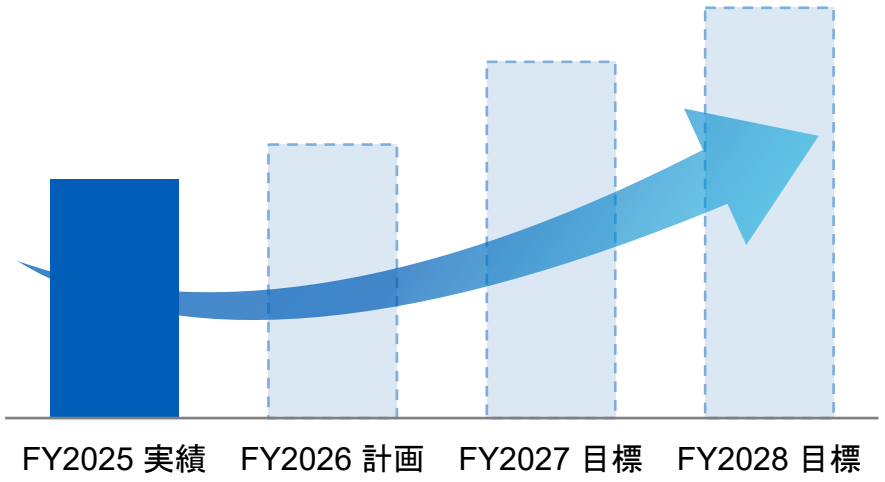
米州における アフターサービスビジネスの拡大

Okuma Global Repair Center（アメリカ ノースカロライナ州）の開所

- オークマアメリカは、米国において拡大を続けるサービス需要に対して、現地で迅速に対応する体制を強化するため、Okuma Global Repair Centerを設立（2026年11月19日 開所予定）
- お客様の設備稼働率の最大化に貢献し、お客様満足度と アフターサービス収益を拡大

米州における サービス関連売上高

✓ 2028年度までに1.7倍に拡大する計画



Okuma Global Repair Centerの特長



✓ 主軸、コンピュータ部品等の修理・部品交換等におけるスピードサービスの実現、顧客ロイヤリティの向上



✓ サービス設備の拡充により、サービス業務の現地化、自社対応を進め、収益性とサービス品質を強化

工程集約・自動化の拡大

■ 自動化、生産性向上に向けたソリューション提案の強化 ―JIMTOF2026―

誰でも簡単に使いこなせる工程集約機と自動化による「止まらない工場」を志向

- 省スペースな5軸制御マシニングセンタの新機種を開発
- 短時間の自動化から長時間連続加工ニーズに対応する自動化パッケージを拡充





新機種

5軸制御立形マシニングセンタ

MU-350V

多品種少量生産の長時間連続稼働ニーズに対応



主な対象業種 自動車 産業機械 医療機器

5軸制御横形マシニングセンタ

MU-250H

成長産業の高精度、高効率な5軸加工、
自動化ニーズに対応



多様な生産形態に応じた自動化



主な対象業種 航空 データセンタ 医療機器

OPEN POSSIBILITIES

OKUMA

フィジカルAI：Green-Smart Machine との融合による生産性向上

■フィジカルAIによる現場改善を、工作機械とNC装置「OSP」の一体開発で培った技術・知見を生かし推進

AI技術

知能化技術



Green-Smart Machine
Powered by Intelligent Technology



OSP

ノウハウ

フィジカルAIを
加工現場に実装

誰もが容易に実践できる
生産改善を支援

フィジカルAIの加工現場への実装に向けて —AIエージェントの開発—

■ 熟練技能者でなくても、生産改善に取り組める現場づくりを支援

ものづくり現場

現場の状況に合った
最適な手段・対応を知りたい



相談例

- 機械の状態を確認したい
- トラブル時の対応方法は？
- 加工効率を上げる方法は？

相談・依頼

状態の説明・
対応方法・
改善のヒント

フィジカルAIの実装機

相談内容に応じて機械情報と蓄積知見を
参照し、状況把握や課題解決を支援

相談に対して機械状態を
把握・分析し回答支援



**AI
エージェント**

情報・
知見の
参照

**AIエージェントでの
機械内部の情報活用 による差別化**

機械・NC装置「OSP」
機械の状態・操作の内部情報

蓄積知見・実績DB
お客様の加工技術・
現場対応の知見

フィジカルAI の社会実装に向けて

■ 国産AI基盤開発への出資を通じて、中長期的なAI・自律化ソリューションの開発力を強化

開発基盤の強化

Noetraへの出資を通じ、国産AI基盤の研究開発を支援



参画を通じて目指す当社の展開

国産AI基盤を通じて、日本の産業現場に蓄積されてきたデータや知見を、安全性を重視しながら活用し、フィジカルAIの社会実装加速を目指す

【将来見通しに関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

2026年11月